

登録コード	EKF31900	開講年度	2026				
授業科目	図画工作・美術科授業分析演習				担当教員	大島 賢一 他	
英文授業名					副担当		
単位数	1	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・1時限	履修学年	1年生
講義室			授業形態	演習	備考		
信大コンピテンシー	非該当						
(1)【授業の達成目標】	【授業で得られる「学位授与の方針」】				⇔	【授業の達成目標】	
	2 6 E A カリ，2 5 E A カリ，2 4 E A カリ						
	教育の専門職としての学識・技能				⇔	図画工作・美術科教育の実践・授業記録の分析方法について理解し，実践・授業の記録の作成および記録の分析ができるようになる。	
(2)授業の概要	演習形式で，美術科教育学の専門性を元に，図画工作・美術科教育の実践や授業の記録・分析方法について学ぶ。また，各自の課題に対応した実践・授業記録を実際に分析・検討し，授業作りにつなげていく。						
(3)授業計画	第 1 回：図画工作・美術科教育の実践・授業の記録および分析方法についての理論 第 2 回：図画工作・美術科教育の実践・授業の量的記録に関する記録・分析方法 第 3 回：量的データ分析の演習 第 4 回：事例の記録の量的分析と検討 第 5 回：図画工作・美術科教育の実践・授業の質的記録に関する記録・分析方法 第 6 回：事例の記録の質的分析と検討 第 7 回：実践・授業記録の分析に基づいた学習過程の改善・構想（レポート提出）						
(4)成績評価の方法	・各回の発表内容（40％），質疑応答・議論の内容（20％），およびレポート（40％）によって評価する。 ・評価割合は，若干の調整をおこなうことがある。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀，89-80% 優，79-70% 良，69-60% 可，59%以下 不可						
(5)履修上の注意	内容によって，授業日程や開催場所を変更することがある。 履修に当たっては，自らの研究課題を考慮し，指導教員と相談の上で決定すること。						
(6)質問,相談への対応および連絡先	オフィスアワー：担当教員への質問・連絡方法は，各自担当教員と相談して決定すること。 なお，別表「担当教員のオフィスアワー」を参照すること。						
(7)成績評価の基準	「卓越している」：(1)研究課題，(2)理論的枠組み，(3)授業内容と専門性，(4)研究の意義，のすべてについて先行研究の成果と限界に基づいた発表，討議，およびレポート構成が実現できた上で，(1)～(4)のうち3つ以上について発展的な発表，討議，およびレポートが実現できている。 「かなり上である」：上記(1)～(4)すべてについて先行研究の成果と限界に基づいた発表，討議，およびレポート構成が実現できた上で，(1)～(4)のうち2つについて発展的な発表，討議，およびレポートが実現できている。 「やや上にある」：上記(1)～(4)すべてについて先行研究の成果と限界に基づいた発表，討議，およびレポート構成が実現できた上で，(1)～(4)のうちいずれか1つについて発展的な発表，討議，およびレポートが実現できている。 「水準にある」：上記(1)～(4)すべてについて先行研究の成果と限界に基づいた発表，討議，およびレポート構成が実現できている。						
(8)事前事後学習の内容について	【事前学習】質疑応答・討論のための資料を準備すること。また，研究課題に関連した文献等を，図書館等で検索・収集し，研究課題の設定の仕方や研究方法論に着目して要約したり，吟味したりすること。 【事後学習】質疑応答・討議を通じて生まれた課題について，事後に各自で調べて再検討すること。						
【教科書】	中学校学習指導要領(平成29年3月告示 文部科学省)、高等学校学習指導要領(平成30年3月告示 文部科学省) 中学校学習指導要領解説美術編(平成29年7月 文部科学省)、高等学校学習指導要領解説芸術(音楽、美術、工芸、書道)編 音楽編 美術編 (平成30年7月 文部科学省)						
【参考書】	授業中に適宜指示する。						